

農家のみなさま

主食用米から飼料用米への切り替えを進めましょう!!

飼料用米の取り組みが進んでいます!

- ▶ 5月15日現在の飼料用米作付見込は全国で35万トンと、**昨年の約2倍まで取り組みが進んでいます。**
- ▶ 需給をふまえて設定したJAグループ岡山の取組目標は8,600トンです。27年産飼料用米作付見込は4,000トンで、取組目標の約5割にとどまっています。
- ▶ 岡山県内では大口の需要があり、飼料用米の大幅な増産が求められています。
- ▶ **米価回復に向けては、さらなる飼料用米への転換が必要です。**

飼料用米の取組状況

	生産振興目標数量	27年産飼料用米 作付見込 (5月15日時点)	到達度
岡山県	8,600トン	4,000トン	47%
全国	60万トン	35万トン	58%

田植えの後でも、まだ間に合います!

- ▶ **主食用米として植えた後でも、営農計画書を修正するだけで、飼料用米に切り替えることができます。**
- ▶ 飼料用米の取組計画書（新規需要米取組計画書）の提出期限が6月末から7月末に延長されたため、**営農計画書を提出した後でも、修正が可能です。**
- ▶ **今からでも、経営の安定につながる飼料用米への切り替えをすすめましょう。**

※主食用米から飼料用米等への切り替えに関する具体的な手続きについては裏面をご参照ください。

具体的な手続き、留意事項

①作付計画を再検討しましょう。

- 米価回復に向けては、主食用米から飼料用米へのさらなる転換が必要です。
- 需給や米価の動向をふまつつ、JAの担当者と話し合いながら、飼料用米の拡大などについて、作付計画を再検討しましょう。

②営農計画書および出荷契約を修正 or 再提出しましょう。

- 既に営農計画書をJAに提出している場合や主食用米・新規需要米の出荷契約を締結している場合でも修正は可能です。JAに「営農計画書および出荷契約書に係る修正依頼書」を提出しましょう（7月末まで）。

※ただし、麦・大豆、加工用米等の数量は6月末までに確定して下さい。

③JAが飼料用米の取組計画書を作成・修正します。

- 生産者からの修正依頼に基づき、JAは、営農計画書・出荷契約書を修正した上で、飼料用米の取組計画書（新規需要米取組計画書）を作成・修正します。
- 営農計画書等を修正した後、JAから生産者に対し、修正通知を行います。

飼料用米に対する政策支援

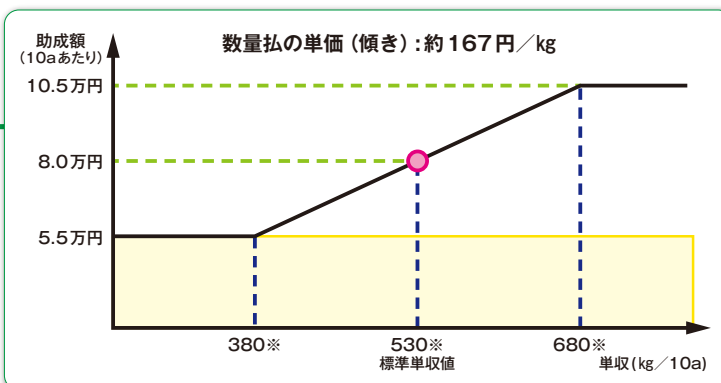
支援1 水田活用の直接支払交付金（戦略作物助成）

- 数量払の導入で最大 **10.5万円／10a**
標準単収でも **8万円／10a**

・交付対象者は販売農家・集落営農

・数量払による助成については、農産物検査機関による数量の確認を受けていることが条件。

・※は全国平均の平年単収（標準単収値）に基づく数値であり、各地域への適用に当たっては、市町村等が当該地域に応じて定めている単収（配分単収）を適用。



支援2 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：多収性専用品種

- 多収性専用品種に取り組むと上乗せで助成されます。助成単価：**12,000円／10a**

多収性専用品種とは…

・モミロマン、ホシアオバ等、主食用以外の用途向けに育成され、一般的な主食用品種と比べて収量が多いと国が認めた20品種

岡山県では特認品種として「**中生新千本**」も同じ助成を受けられます

岡山県だけ
ここがポイント!

支援3 水田活用の直接支払交付金（産地交付金）：大規模作付する担い手

- 飼料用米に1ha以上取り組む担い手※を対象に、産地交付金による助成が受けられます。

※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織、人・農地プランにおける中心経営体

助成単価：**8,000円／10a**

岡山県だけ
ここがポイント!

(注) 産地交付金は、〈支援③〉以外に、地域農業再生協議会が別途、独自助成措置を設けている場合があります。詳細は各地域農業再生協議会におたずねください。

～作付段階で収入が見通せるため、経営の安定につながります～